

# 漁海況情報

第464号 (平成23年2月14日)

TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
 ホームページ: [www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/](http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/)

水産試験場「最上丸」と水産課「月峯」は2月2～3日に沿岸及びタラ場の水温観測を実施しました。

- 1 沿岸水温  
表層と200m層は平年より「やや高く」、50m層～150m層は「平年並み」となりました。
- 2 タラ場水温  
200m層: 前年より0.9℃低く、平年より1.6℃高くなりました。吹浦沖が低い以外はほぼ一様でした。  
250m層: 前年より0.2℃高くなりました。南部ほど高く北部ほど低くなっています。  
南部と北部の差は1.6℃でした。  
300m層(底層): 前年より0.5℃高く、平年より0.4℃高くなりました。吹浦沖が低い以外はほぼ一様となりました。

沿岸25海里定点各層別の平均水温

単位:℃

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	10.2	10.3	10.3	10.1	7.6	—
前年差	+0.2	-0.3	-0.3	-0.3	-0.2	—
平年差	+0.5	-0.1	+0.1	+0.8	+1.0	—
評価	やや高い	平年並み	平年並み	平年並み	やや高い	—
(前月評価)	(かなり高い)	(かなり高い)	(はなはだ高い)	(平年並み)	(平年並み)	—

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回, "やや"は約4年に1回, "かなり"は約10年に1回, "はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

地先平均水温(1月)

単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	8.0	±0.0	+0.5	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	10.0	+0.1	+0.4	平年並み

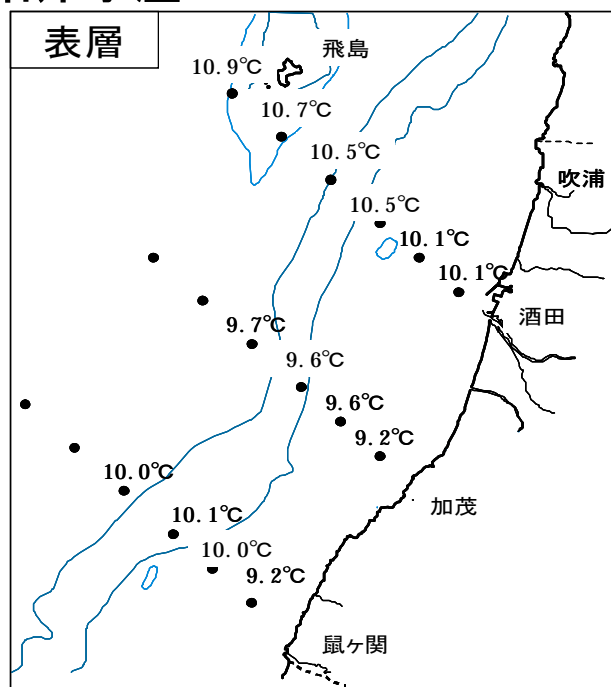
・地先水温: 水産試験場、栽培漁業センターとも「平年並み」の水温になっています。

## タラ場水温観測結果 (2011年2月2日月峯、2月3日最上丸 観測)

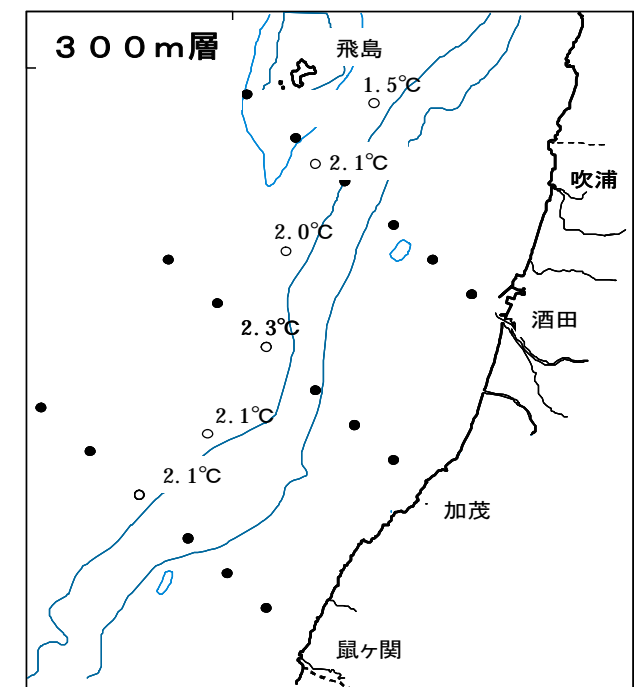
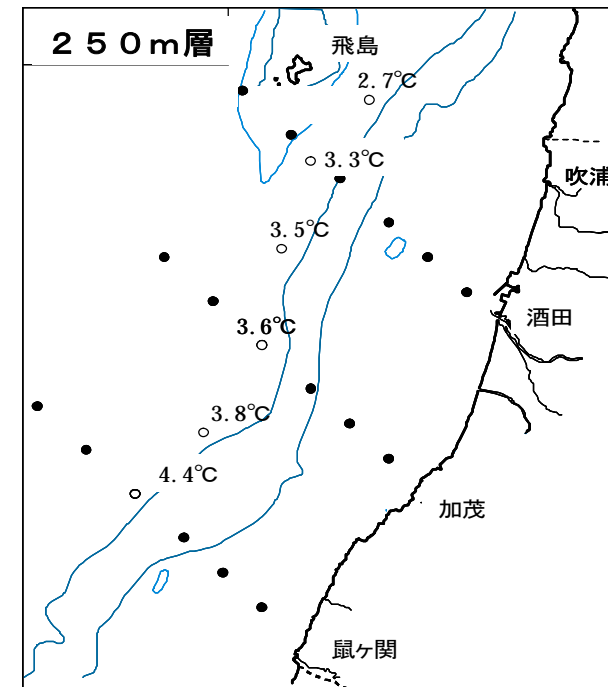
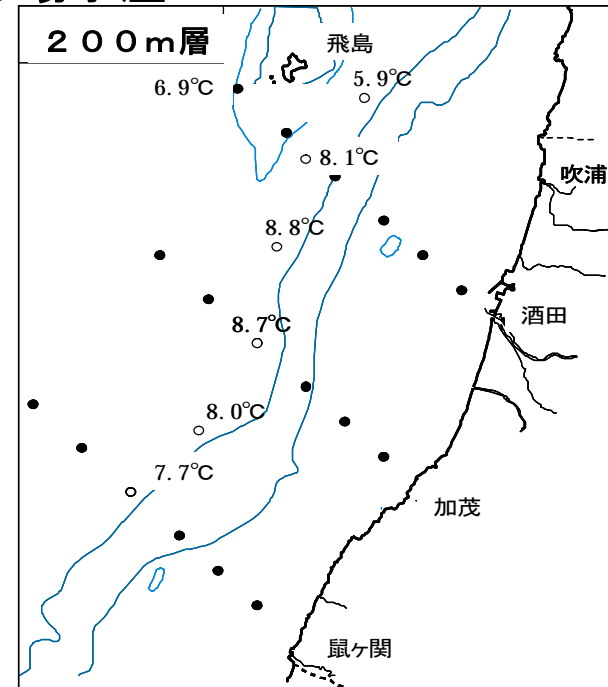
\*: 水温の単位℃、( )は1月の値

漁場	緯度	経度	ロラン(3局)	水深m	水温200m	水温250m	水温300m
鼠ヶ関沖	38° 42.3'	139° 17.2'	3064	308	7.7(8.5)	4.4(4.5)	2.1(2.1)
堅苔沢沖	38° 48.0'	139° 25.0'	2965	318	8.0(9.1)	3.8(4.9)	2.1(1.8)
加茂沖	38° 54.4'	139° 28.2'	2893	300	8.7(5.0)	3.6(3.4)	2.3(2.0)
浜中沖	39° 00.2'	139° 31.1'	2820	331	8.8(8.3)	3.5(4.3)	2.0(2.0)
酒田沖	39° 03.6'	139° 34.4'	2765	300	8.1(7.7)	3.3(4.3)	2.1(1.7)
吹浦沖	39° 10.4'	139° 37.3'	2680	320	5.9(8.5)	2.7(4.2)	1.5(2.0)
6地点の平均					7.9(7.8)	3.6(4.3)	2.0(1.9)
前年					8.8(6.1)	3.4(3.3)	1.5(1.8)
前年差					-0.9(+1.7)	+0.2(+1.0)	+0.5(+0.1)
平年					6.3(6.8)	—(-)	1.6(1.6)
平年差					+1.6(+1.0)	—(-)	+0.4(+0.3)

## 沿岸水温



## タラ場水温



# 1月の漁況

・延べ操業隻数は、516隻で、時化の影響で前年比40%でした。  
 ・総漁獲量は、490トンで前年比143%でした。これは例年ほとんど操業しない船凍いか釣漁業のスルメイカが291トン水揚げされたため、この漁獲量を除くと199トンとなり時化の影響で前年比58%となりました。  
 ・底びき網漁業の漁獲量は161トンで前年比65%でした。ハタハタ、ズワイガニは前年を上回りましたが、タイ類、ヒラメ、カレイ類、マダラ、アカエビ、タコ類等多くの魚種で前年を下回りました。  
 ・その他の漁業では、船凍いか釣漁業のスルメイカ、えなわ漁業のサワラが前年を上回りましたが、はえなわ漁業のマダラとタコ類、採貝藻漁業のアワビ、サザエ、ナマコが前年を下回りました。  
 ・船凍いか釣漁業は1月に佐渡島沖と隠岐諸島周辺で山形船団と石川船団が集団で操業していました。昨年の夏以降日本海の水温が高い状態が続き冬生まれのスルメイカの南下が遅れたことと佐渡島に冷水が差し込んだことにより、佐渡島沖に好漁場が形成されたと考えられます。

\* 前年比は平成18～22年までの平均値と比較した値です。

## 全漁業支所別漁獲量

単位: 隻、kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	20	208	47	7	100	23	10	101	516	62%	40%
総漁獲量	17,475	11,611	342,995	8,376	31,158	10,774	642	66,904	489,934	153%	143%
前年比	81%	61%	240%	130%	88%	79%	91%	84%	153%		
平年比	60%	40%	380%	53%	67%	48%	39%	62%	143%		

## 底びき網漁業

単位: 隻、kg

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	15	28	36	14	76	169	62%	44%
タイ類	22	3,487	281	26	2,067	5,883	59%	42%
ヒラメ	58	126	108	94	767	1,153	54%	46%
カレイ類	381	759	841	515	1,361	3,857	55%	48%
ハタハタ	141	262	2,544	2,429	26,479	31,855	197%	156%
スケソウダラ	4,840	5,245	2,608	856	1,297	14,846	80%	104%
ズワイガニ	979	2,629	2,622	184	720	7,134	289%	279%
マダラ	7,628	24,684	18,741	5,143	15,635	71,831	85%	54%
アカエビ	461	214	736	233	5,152	6,796	84%	43%
タコ類	95	570	144	196	622	1,627	42%	39%
その他	546	2,071	905	862	11,707	16,091		
計	15,151	40,047	29,530	10,538	65,807	161,073	87%	65%
前年比	79%	98%	87%	79%	83%	87%		
平年比	57%	78%	69%	49%	63%	65%		

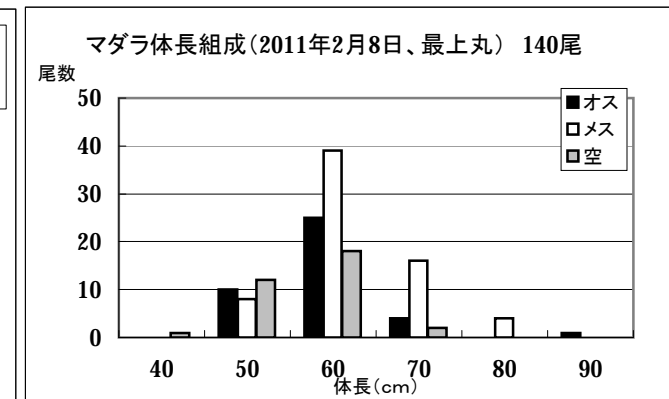
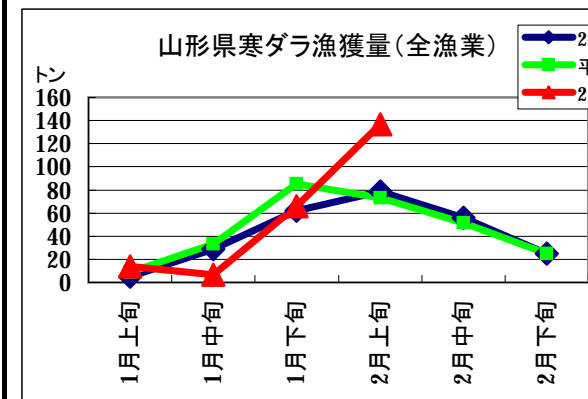
## その他の漁業

単位: 隻、kg

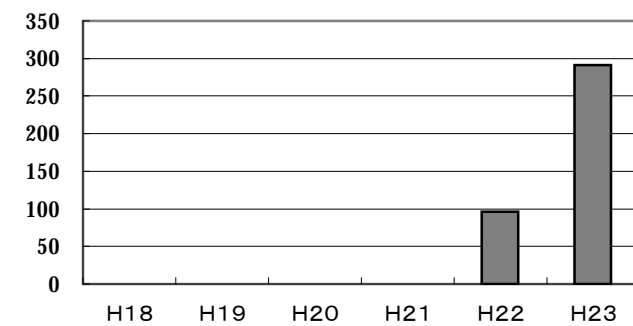
漁業種類	船凍いか釣漁業	はえなわ漁業			採貝藻漁業		
延べ操業隻数	7	50			238		
対象魚種	スルメイカ	サワラ	マダラ	タコ類	アワビ	サザエ	ナマコ
漁獲量(トン)	291.3	2.1	10.8	1.1	0.2	0.7	1.0
前年比	305%	20910%	209%	41%	48%	56%	62%
平年比	1519%	9419%	75%	26%	22%	52%	33%

## 寒ダラ漁獲状況(2月上旬まで)

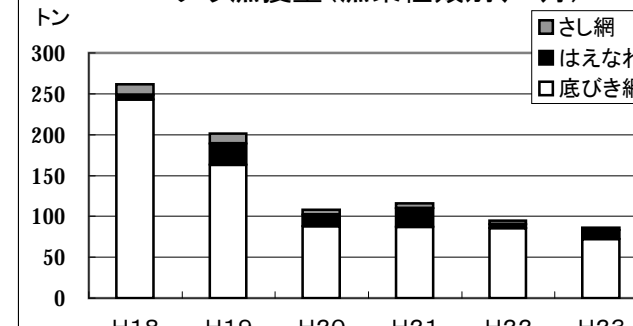
・1月中旬までは時化により出漁日数が前年より少なく漁獲は伸び悩みましたが、1月下旬以降出漁が増加し漁獲も回復してきました。1月上旬～2月上旬までの累計は223トン(前年比128%、過去10年平年比111%)となりました。  
 ・体長組成は、1月下旬の由良市場、2月上旬の最上丸調査(吹浦沖)とも、オスが50～60cm(4kg台中心)、メスが60～70cm(5kg台中心)の割合が高くなりました。



## スルメイカ漁獲量(船凍いか釣漁業、1月)



## マダラ漁獲量(漁業種類別、1月)



最上丸の調査予定(2月中旬～3月上旬)

## 海洋観測、底びき網調査

- ・底びき網調査(ハタハタ)を行います。
- ・海洋観測を行います。



みなさま、調査へのご協力よろしく申し上げます。